

**【演題名】**

平戸度島スタディ (MGD 検診): 島民におけるマイボーム腺機能不全の有病率とリスク因子

**【ショートタイトル演題名】**

MGD の有病率とリスク因子

**【演者】**

○有田玲子<sup>1)2)</sup>、溝口尚則<sup>1)3)</sup>、福岡詩麻<sup>1)4)</sup>、川島素子<sup>1)5)</sup>、高静花<sup>1)6)</sup>、白川理香<sup>1)7)</sup>、鈴木崇<sup>1)8)</sup>、森重直行<sup>1)9)</sup>

1) LIME 研究会 2)伊藤医院 3)溝口眼科 4) 大宮はまだ眼科 5)慶應大 6)大阪大 7) 東京大 8) 東邦大大森 9)大島眼科病院

**【目的】**平戸度島で行われた疫学調査で、島民のマイボーム腺機能不全(以下 MGD)有病率とリスク因子の検討を行った。

**【方法】**6 歳以上の全島民を対象とし、MGD ワーキンググループの診断基準にしたがって、眼症状に関する問診、細隙灯顕微鏡による眼瞼縁所見(0-4)、マイバムグレード (0-3) で有病率を算出した。MGD に関する患者背景リスク因子の検討を Fisher の直接確率法、Logistic 回帰によるオッズ比推定を行った。

**【結果】**6 歳から 92 歳までの島民、384 名 (男性: 141 名、女性: 243 名) のうち、適切に検査が終了できなかった 28 名を除外して 356 名を解析対象とした。MGD は 356 名中 108 名 (30.3%) だった。40 歳以上で Logistic 回帰多変量モデルを年齢、性別、全身疾患 (高血圧、糖尿病、心臓病、膠原病、脂質異常症、うつ病、アレルギー、その他)、全身疾患内服 (降圧薬、抗糖尿病薬、心臓病薬、膠原病薬、脂質降下薬、睡眠薬、前立腺肥大治療薬、その他)、喫煙の有無について検討 (オッズ比、95%CI) したところ、年齢 (1.338、1.059~1.691)、男性 (0.495、0.288~0.852)、脂質降下薬内服 (3.062、1.004~9.341) が MGD のリスク因子として考えられた。

**【結論】**平戸度島での MGD 有病率は 30.3%で、高齢、男性、脂質異常症がリスク因子として示唆された。

利益相反 有田玲子 P, C (興和、日本ルミナス) FIV (参天)

溝口尚則、川島素子、森重直行 なし

高 静花 FIV (SEED)

福岡詩麻 FIV (参天)

白川理香 F II (中央産業貿易)

鈴木崇 ?